

令和7年5月26日

各高等学校長 殿
各中等教育学校長 殿
各特別支援学校長 殿

仙台市内高等学校美術研究会
会 長 佐 藤 彰 彦
(公 印 省 略)

令和7年度 仙台市内高等学校美術研究会 美研委員交流会について（お知らせ）
(生徒および指導担当教員の参加，派遣の依頼)

向暑の候，貴職におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて，表記の会を下記の通り開催いたします。つきましては，校務多様のところ恐縮では存じますが，貴校美術部および同種のサークル，美術科の美研委員生徒および顧問，指導教員の派遣につきまして，特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 名 称 「仙台市内高等学校美術研究会 美研委員交流会」
- 2 主 催 仙台市内高等学校美術研究会
- 3 期 日 2025（令和7）年8月1日（金）
- 4 会 場 東北芸術工科大学 〒990-2421 山形県山形市上桜田3丁目4－5
- 5 参 加 費 一人600円
- 6 参 加 者 仙台市内高等学校美術研究会美研委員か美術部員，引率教員
- 7 内 容 東北芸術工科大学が開講する講座に参加し，美術の技法やジャンルの体験を通して，市内美術部員，村山地区美術部員との交流を図る。
- 8 日 程 7：30 仙台駅東口集合，専用バスにて山形へ出発
(予定) 9：00 東北芸術工科大学到着，開会式
10：00 午前の部
12：00 昼食（学食が利用できます）
13：00 午後の部
- 9 申し込み 別紙申し込み用紙を記入の上，仙台青陵藤井宛にメール（fujii-hanae@sendai-c.ed.jp）かFAX（022-303-1292）で，6月13日（金）までに申し込みをお願いします。
- 10 その他 山形県の「村山地区美術部研修会」と合同開催になります。

以上

〈連絡先〉

仙台市内高等学校美術研究会 交流会担当
仙台市立仙台青陵中等教育学校 教諭 藤井 花恵
〒989-3201 仙台市青葉区国見ヶ丘七丁目144番地
電話 022-303-5551 FAX022-303-1292
fujii-hanae@sendai-c.ed.jp

令和7年度 仙台市内高等学校美術研究会 美研委員交流会 実施要項

- 1 名 称 「仙台市内高等学校美術研究会 美研委員交流会」
- 2 主 催 仙台市内高等学校美術研究会
- 3 期 日 2025（令和7）年8月1日（金）
- 4 会 場 東北芸術工科大学 〒990-2421 山形県山形市上桜田3丁目4－5
- 5 参 加 費 一人600円
- 6 参 加 者 仙台市内高等学校美術研究会美研委員か美術部員から2～4名、引率教員
※参加人数が多数に及んだ場合は、上級生を優先参加とさせていただきます。
- 7 内 容 東北芸術工科大学が開講する講座に参加し、美術の技法やジャンルの体験を通して、市内美術部員、村山地区美術部員との交流を図る。
- 8 日 程 7：30 仙台駅東口集合、専用バスにて山形へ出発
 （予定） 9：00 東北芸術工科大学到着、開会式
 10：00 午前の部
 12：00 昼食（学食が利用できます）
 13：00 午後の部
- 9 申し込み 下記の「実施講座」をお読みの上、別紙申し込み用紙を記入し、仙台青陵藤井宛にメール（fujii-hanae@sendai-c.ed.jp）かFAX（022-303-1292）で、6月13日（金）までに申し込みをお願いします。
- 10 そ の 他 山形県の「村山地区美術部研修会」と合同開催になります。

〈令和7年度美研委員交流会実施講座〉

A	コース	美術科洋画コース①
	実施内容	「奇跡の色彩を楽しむ油絵 一人物画を描く」 油絵具は乾かない！それを利用した描画方法「アラプリマ技法」を体験します。誰もが知るゴッホもこの技法を用いてストレートな感情表現や奇跡の色彩を生み出しました。一度に画面全体へたくさんの絵具を塗り、偶然に出来た色彩を楽しみながら勢いよく人物画を描いてみましょう。
	持ち物	油彩用の画材／20号のキャンバス／20号の持ち帰り用のキャンバス・クリップ／ボロ布／汚れてもいい服装

B	コース	美術科洋画コース②
	実施内容	「木炭を使用した人物（着衣）デッサン」 モデルをしっかり観察し木炭で人体を描きます。これまで木炭を使ったことが無い方でも丁寧にレクチャーしますので大丈夫！鉛筆とは違う「力強い表現の醍醐味」を経験しましょう。
	持ち物	筆記用具／汚れてもいい服装（※木炭紙、木炭等の画材は本学で用意）

C	コース	美術科日本画コース
	実施内容	「風景画を描こう！～風景画の極意をつかむ！～」 鉛筆・水彩絵の具等を使い風景画を描きます。風景画が初めての人でも、風景画や絵を描くスキル、水彩絵の具の使い方やコツ・極意を楽しく学ぶことができます。
	持ち物	水彩用具／鉛筆デッサン用具／日よけ対策（外でのスケッチも行いますので、飲み物、日差し対策、帽子などをご準備ください

D	コース	美術科彫刻コース
	実施内容	「自分の分身”アバター”を制作！」 自分の分身としてアバターをデザインし、オリジナルキャラクターを立体造形します。彫刻好きはもちろん、イラストや絵画などを普段描いている人も立体化するチャンス！立体造形の魅力をたっぷり味わえます
	持ち物	筆記用具

E	コース	美術科版画コース
	実施内容	「描きたいから伝えたいへ。あなたのイラストをバージョンアップ」 普段描いているイラスト（絵本・漫画・アニメ・絵画的な表現などジャンルは問いません）に絵画的造形力をプラスしより魅力あるイラストにしていきます。画材の選び方の講座、箔押しや特殊印刷の体験、特製缶バッジ制作などを行います。
	持ち物	カルトン／水彩かアクリル絵の具／・コピック／ペン／鉛筆など（得意な画材を持ってきてください）※B3の画用紙は本学で準備

F	コース	美術科総合美術コース
	実施内容	「モダンテクニックで抽象アートに挑戦！」 モダンテクニックとは偶然性を楽しむアート技法です。自分では思いもつかない色や形がどんどん生まれます。筆以外のものでも描くなど、いつもとは違う描き方にチャレンジし、抽象表現の楽しさを体験しましょう。
	持ち物	筆記用具、汚れても良い服装

G	コース	グラフィックデザインコース
	実施内容	「伝わる動物ピクトグラム」 視覚的に伝わるデザイン＝グラフィックデザインの基本を学び、幾何学模様（丸、三角、四角）を使って動物のピクトグラムをデザイン制作します。グラフィックデザインの基礎を学び、観察力、創造力、表現力を養うことができます。
	持ち物	筆記用具（鉛筆・消しゴム）、はさみ、カッター、のり

H	コース	プロダクトデザインコース
	実施内容	「真空成形”ってなに？ ものができるしくみを体験しよう」 「真空成形（しんくうせいけい）」は、身のまわりのプラスチック製品にも使われている製造技術のひとつです。作品のデザインから原型の制作も含め、真空成形の工程を体験しながら、ものがどのように作られているのか学びます。
	持ち物	筆記用具、汚れても良い服装（エプロン、つなぎ、作業着等）

